

令和5年6月5日(月)三沢小学校 児童会3・4年生×(ABCプロジェクト・保育園との交流)

令和5年6月7日(火) 掲載

カブトムシ幼虫 小学生が園児に

三沢小、児童が提案

皆野町立三沢小学校(吉田浩校長、児童数24人)の児童が5日、山田保育園(秩父市)の園児に計14匹の幼虫をプレゼントした。同校では、約80匹のカブトムシの幼虫を飼育している。今月までに秩父地域の幼稚園保育園計6施設に配布し、地域に笑顔を届ける。同校の幼虫飼育は、3年前から実施。学校運営協議会(野沢博美会長)協力のもと、校内の旧小鳥小屋に養殖場を作り、児童が水やりや成長観察を行っている。幼虫を地域に配る取り組みは、「みんなに



三沢小児童からカブトムシの幼虫をプレゼントされ、笑顔を見せる山田保育園の園児。5日午前、皆野町立三沢小学校

命の大切さを知ってほしい」と児童が提案し、昨年からはまった。

山田保育園の園児11人は、同校3、4年生が作製した飼育用ペットボトルに幼虫を入れ、笑顔で持ち帰った。同校

3年の腰塚美玲さん(9)は「みんなと交流ができて良かった。大切に育ててほしい」と話していた。

幼虫は今月下旬にサナギになり、羽化してカブトムシの姿になる。同校児童は、7月

に同町の「道の駅みなの」でカブトムシ販売を行う予定。

(中野春夫)